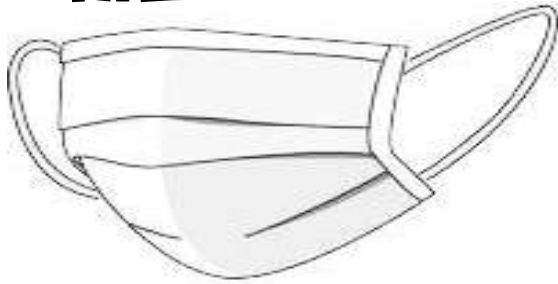


新型コロナウイルス



感染予防対策のお願い

(イベント参加者用)

新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国が発表した行動変容の日常生活に於ける具体的な実践例として『新しい生活様式』が示され、北海道でも『新北海道スタイル』の実践・定着を推進していくことに伴い、全日本スキー連盟及び北海道スキー連盟は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策のガイドラインを策定しましたが、小樽スキー連盟においても以ガイドラインを作成しましたので、参加者及び役員の感染防止対策の徹底をお願い致します。

*参加者が遵守すべき事項



参加の取りやめ

イベント前2週間における以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を取りやめるようにしてください。

- 平熱を超える発熱
- 咳、喉の痛みなど風邪の症状
- だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
- 臭覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

マスクの着用

参加受付、着替え、スポーツを行っていない間、会話をする際にはマスクを着用する。

ソーシャルディスタンス

他の参加者、主催者スタッフ等と十分な距離を2m(最低1m)確保する。

大声を出さない

イベント中、大きな声での会話、応援等をしない。

措置・指示の遵守

感染予防のため、主催者が決めたその他の措置を遵守し主催者の指示に従う。

発症した場合

イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し速やかに濃厚接触者の有無について報告する。

三密を避ける

更衣室、休憩・待機スペースだけではなく、イベント前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密（密集、密接、密閉）を避ける。メンバーは、必要最小限にとどめる。

*スポーツを行う際の留意点

ソーシャルディスタンス

スポーツをしていない時と同様に感染予防の観点から、周囲の人と十分な距離を2m（最低1m）空ける。

位置取り

イベントでは、前の人の呼気の影響を避けるため、一直線に並ぶのではなく、並走あるいは斜め後方に位置取る。フェースマスク、ネックチューブを活用する。

つば・たん

イベント中に、唾（つば）や痰（たん）を吐くことは行わない。

タオル共用しない

タオル等の共用はしない。

飲 食

指定場所以外の飲食は行わず、周囲の人となるべく距離を取り、対面を避け、会話は控えめにする。

飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない。

～新型コロナにならない・うつさない～

小樽スキー連盟は、国が示した「新しい生活様式」を実践し、
「北海道スタイル」安心宣言に基づき、大会運営に取り組みます。